

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2021No.225】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：交響曲第 41 番ハ長調《ジュピター》

演奏：ジャン＝クリストフ・スピノジ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53179>

2021 年 6 月 20 日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



上記の他に下記が演奏されました。

アントニオ・ヴィヴァルディ

《ジュスティーノ》よりアリア〈よろこびと共に会わん〉

フィリップ・ジャルスキー (カウンターテノール)

アントニオ・ヴィヴァルディ

《オリュンピアス》よりアリア〈私は呻き、同時に震える〉

フィリップ・ジャルスキー (カウンターテノール)

ヨーゼフ・ハイドン 交響曲第 82 番ハ長調《熊》

ジョアキーノ・ロッシーニ

《タンクレディ》よりカヴァティーナ〈こんなに胸騒ぎが〉

フィリップ・ジャルスキー

スピノジの指揮を聴くのは初めてですが、きびきびした動きでオーケストラをリードしていきます。

モーツァルトの交響曲第 41 番は、そういったスピノジの指揮の下、抑揚のあるダイナミックなモーツァルトです。

ハイドンの交響曲第 82 番も、切れのよいスピノジの指揮による、明るく軽快なハイドンです。

カウンターテノールのジャルスキーが歌うヴィヴァルディとロッシーニの 3 曲のアリアは、ジャルスキーの男性とは思えない、澄んだ高音が聴かれました。バロックものでは、カウンターテノールはしばしば聴いていますが、ロッシーニの歌劇のようなものでカウンターテノールを聴くのは初めてです。

以上